



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月10日

上場会社名 アジアパイルホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 5288 URL https://www.asiapile-hd.com
代表者 (役職名) 代表取締役社長最高執行役員 (氏名) 黒瀬 修介
問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 鈴木 秀明 TEL 03-5843-4173
定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月5日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|---------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 103,151 | △6.4 | 7,016 | 11.7 | 6,247 | 6.9 | 3,821 | △7.5 |
| 2023年3月期 | 110,245 | 18.3 | 6,283 | 187.6 | 5,844 | 169.4 | 4,130 | 176.4 |

(注) 包括利益 2024年3月期 5,192百万円 (7.2%) 2023年3月期 4,843百万円 (118.0%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年3月期 | 100.34 | — | 8.9 | 6.4 | 6.8 |
| 2023年3月期 | 108.43 | — | 10.5 | 6.3 | 5.7 |

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 △108百万円 2023年3月期 △140百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 95,230 | 49,122 | 47.2 | 1,180.51 |
| 2023年3月期 | 99,229 | 45,169 | 41.6 | 1,084.01 |

(参考) 自己資本 2024年3月期 44,964百万円 2023年3月期 41,288百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年3月期 | 4,241 | △3,948 | △3,960 | 16,282 |
| 2023年3月期 | 7,549 | △4,895 | 2,948 | 19,817 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年3月期 | — | 10.00 | — | 20.00 | 30.00 | 1,142 | 27.7 | 2.9 |
| 2024年3月期 | — | 15.00 | — | 25.00 | 40.00 | 1,523 | 39.9 | 3.5 |
| 2025年3月期(予想) | — | 22.50 | — | 22.50 | 45.00 | | 43.9 | |

(注) 2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭

2024年3月期における1株当たり期末配当金については、15円00銭から25円00銭に変更しております。詳細については、本日(2024年5月10日)公表いたしました「2024年3月期配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 通期 | 104,000 | 0.8 | 7,100 | 1.2 | 6,300 | 0.8 | 3,900 | 2.0 | 102.39 |

(注) 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 2024年3月期 | 38,089,792株 | 2023年3月期 | 38,089,792株 |
| 2024年3月期 | 942株 | 2023年3月期 | 805株 |
| 2024年3月期 | 38,088,911株 | 2023年3月期 | 38,089,005株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (セグメント情報) | 13 |
| (1株当たり情報) | 15 |
| (重要な後発事象) | 15 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まり社会経済活動の正常化が進む一方で、急激な円安の進行や、物価高騰、ウクライナや中東の地政学リスクなど、先行き不透明な状況が続く展開となりました。

当社グループが事業展開しているアセアン地区においては、ベトナムでは金融引締め後の財政・金融面からの景気刺激策により上半期の低成長からは回復しつつあります。また、ミャンマーでは、クーデター以降、経済全体の停滞が続いています。

当連結会計期間における各セグメントの概況は以下の通りです。

① 国内事業

国内事業では、先行きの建設需要は底堅いものの、原材料価格高騰に伴う建設コストの上昇や、人手不足にある中、2024年4月から適用される時間外労働の上限規制を見据え、ゼネコンサイドで上限規制を意識した慎重な動きも見られることから、建設工事自体の工程見直し・着工遅延が続き、結果、国内コンクリートパイル業界の全体出荷量は前年対比2割の減少となりました。

このような動きは、特にコンクリートパイルのウェイトの大きい中小型工事案件で顕著であり、当社グループのコンクリートパイル出荷量も同様に減少しましたが、大型工事案件を中心に積極展開をしてきた新工法「Smart-MAGNUM工法」が市場でも評価され、更に同工法の施工効率向上も進んだことから、採算面での改善に寄与しました。一方、大型工事を主体とする場所打ち杭・鋼管杭の売上高は前年同期対比で堅調に推移しました。

結果、国内事業の売上高は869億75百万円（前期比3.2%減）、営業利益は61億42百万円（同9.8%増）となりました。

② 海外事業

海外事業では、ベトナムの事業子会社Phan Vu Investment Corporationは、ベトナム政府の金利引き下げ等の景気浮揚策により、金融面の収支は改善しつつありますが、不動産・建設市場回復の足取りは鈍く、業績は依然として低調に推移しました。また、ミャンマーの事業子会社VJP Co., Ltd. は事業活動がほぼ停止した状況が続きました。

結果、海外事業の売上高は162億79百万円（前期比20.6%減）、営業利益は9億13百万円（同14.9%増）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,031億51百万円(前期比6.4%減)となりました。利益面では、営業利益70億16百万円(同11.7%増)、経常利益62億47百万円(同6.9%増)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、国内事業において当社の成長戦略の一環として工事の大型化を積極的に進めた結果、中小径杭製造工場での稼働率が低下したこと、減損損失4億31百万円を計上したことなどで、38億21百万円(同7.5%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ39億99百万円減少し、952億30百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が38億52百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が6億46百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ79億52百万円減少し、461億8百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が19億36百万円、ファクタリング未払金が23億38百万円、未払法人税等が9億47百万円、借入金合計21億76百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産については、親会社株主に帰属する当期純利益計上による増加38億21百万円、配当金の支払いによる減少13億33百万円、その他有価証券評価差額金の増加9億9百万円、為替換算調整勘定の増加2億74百万円、非支配株主持分の増加2億77百万円などの結果、前連結会計年度末に比べ39億52百万円増加し491億22百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は162億82百万円となり、前連結会計年度末より35億34百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動において得られた資金は、前年同期比33億7百万円減少し42億41百万円となりました。この要因は、支払サイトを短縮したことなどによって、ファクタリング未払金が22億54百万円減少、仕入債務が20億90百万円減少、また、法人税等の支払い29億72百万円などにより減少しましたが、税金等調整前当期純利益の計上57億51百万円、減価償却費の計上35億18百万円などにより増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動において使用した資金は、前年同期比9億46百万円減少し39億48百万円となりました。この要因は、有形固定資産の取得による支出41億4百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動において使用した資金は、39億60百万円（前年同期は29億48百万円の獲得）となりました。この要因は、短期借入金の純減少11億46百万円、長期借入金の返済による支出17億98百万円、配当金の支払額13億64百万円などにより減少したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2020年3月期 | 2021年3月期 | 2022年3月期 | 2023年3月期 | 2024年3月期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 (%) | 44.3 | 46.2 | 43.5 | 41.6 | 47.2 |
| 時価ベースの自己資本比率 (%) | 19.8 | 26.0 | 19.0 | 28.2 | 34.8 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) | 1.5 | 1.5 | 3.3 | 2.2 | 3.4 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | 11.0 | 15.1 | 9.6 | 11.6 | 5.4 |

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
 4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しについては、我が国経済は、円安の進行や、物価高騰、ウクライナや中東の地政学リスクなど、依然として先行き不透明なものの、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復等により、緩やかな回復基調が続くことが期待されます。

このような環境のもと、当社グループは次年度から新5か年計画をスタートさせます。当社グループは建物基礎の構築を専業とする基礎建設事業者として、高い専門性を発揮し更なる発展を遂げ、業界を代表する企業グループとして成長してまいります。

国内事業では、大型物流施設・半導体関連工場、都市部の大型再開発など、大企業の設備投資意欲は強い一方、建設コストの増加や労働力不足による工期長期化・着工遅延から中小企業の設備投資が増加基調に転ずるのには少し時間がかかる見込みです。当社グループは、すべての基礎杭（コンクリート杭、鋼管杭、場所打ち杭）の設計・製造・施工を一貫して提供し、それぞれの杭種の特性を最大限に生かした建物基礎構築のサポートをすることで、新規マーケットの開拓を進めると共に特に引き続き需要の期待できる大型工事分野での受注確保に注力してまいります。

海外事業では、ベトナムの不動産・建設市場回復が本格化するまでには時間を要することや、ミャンマーも現状の経済停滞が当面続くと思われまます。当社グループとしては、国内事業と海外事業の有機的な融合を強め、国内外の人的資本を最大限に活用すると共に海外での一層の技術力向上を目指してまいります。

次年度の業績といたしましては、新5か年計画、並びに国内外のコンクリートパイルの需要動向等を踏まえ、売上高1,040億円（前年同期比0.8%増）、営業利益71億円（同1.2%増）、経常利益63億円（同0.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は39億円（同2.0%増）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、持続的な企業価値向上・事業展開とともに、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付け、安定した配当実施を基本方針としています。

当期の期末配当金につきましては、業績、経営環境、配当の安定維持などを勘案し、1株当たり25円（年間配当は40円）となる予定です。次期の配当金は中間、期末配当金とも1株当たり22円50銭、年間で45円を予定しております。

※当期配当金および株主還元方針の詳細につきましては、本日（2024年5月10日）公表の「2024年3月期配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」および「株主還元方針の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応する方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 20,685 | 16,832 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 37,305 | 36,659 |
| 未成工事支出金 | 2,182 | 1,964 |
| 商品及び製品 | 6,435 | 6,230 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,161 | 1,974 |
| その他 | 1,230 | 1,011 |
| 貸倒引当金 | △1,512 | △1,774 |
| 流動資産合計 | 68,487 | 62,898 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 8,257 | 8,934 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 7,263 | 7,218 |
| 土地 | 5,670 | 6,455 |
| リース資産(純額) | 716 | 674 |
| 建設仮勘定 | 1,794 | 310 |
| その他(純額) | 2,056 | 1,917 |
| 有形固定資産合計 | 25,758 | 25,510 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 104 | 74 |
| その他 | 463 | 300 |
| 無形固定資産合計 | 568 | 375 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,308 | 4,602 |
| 長期貸付金 | 1 | 2 |
| 繰延税金資産 | 70 | 81 |
| その他 | 1,072 | 1,798 |
| 貸倒引当金 | △39 | △39 |
| 投資その他の資産合計 | 4,414 | 6,445 |
| 固定資産合計 | 30,741 | 32,331 |
| 資産合計 | 99,229 | 95,230 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 16,077 | 14,141 |
| ファクタリング未払金 | 12,334 | 9,996 |
| 短期借入金 | 9,263 | 8,569 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,763 | 1,748 |
| リース債務 | 43 | 68 |
| 未払法人税等 | 1,878 | 931 |
| 契約負債 | 987 | 993 |
| 賞与引当金 | 726 | 704 |
| 完成工事補償引当金 | 157 | 32 |
| 工事損失引当金 | 97 | 88 |
| その他 | 3,485 | 2,699 |
| 流動負債合計 | 46,817 | 39,973 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,731 | 3,264 |
| リース債務 | 241 | 268 |
| 繰延税金負債 | 464 | 774 |
| 役員退職慰労引当金 | 237 | 245 |
| 退職給付に係る負債 | 863 | 891 |
| 長期未払金 | 287 | 276 |
| その他 | 416 | 412 |
| 固定負債合計 | 7,243 | 6,134 |
| 負債合計 | 54,060 | 46,108 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,621 | 6,621 |
| 資本剰余金 | 8,706 | 8,706 |
| 利益剰余金 | 24,577 | 27,065 |
| 自己株式 | △0 | △0 |
| 株主資本合計 | 39,904 | 42,393 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 819 | 1,729 |
| 為替換算調整勘定 | 539 | 814 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 24 | 27 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,384 | 2,571 |
| 非支配株主持分 | 3,880 | 4,157 |
| 純資産合計 | 45,169 | 49,122 |
| 負債純資産合計 | 99,229 | 95,230 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|---|--|--|
| 売上高 | 110,245 | 103,151 |
| 売上原価 | 93,688 | 85,804 |
| 売上総利益 | 16,556 | 17,347 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,273 | 10,330 |
| 営業利益 | 6,283 | 7,016 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 54 | 102 |
| 受取配当金 | 92 | 94 |
| スクラップ売却益 | 60 | 60 |
| その他 | 209 | 124 |
| 営業外収益合計 | 416 | 381 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 647 | 787 |
| 持分法による投資損失 | 140 | 108 |
| その他 | 66 | 255 |
| 営業外費用合計 | 855 | 1,151 |
| 経常利益 | 5,844 | 6,247 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 394 | 18 |
| 投資有価証券売却益 | 11 | — |
| 特別利益合計 | 405 | 18 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 2 | — |
| 固定資産除却損 | 129 | 82 |
| 減損損失 | — | 431 |
| 投資有価証券売却損 | 1 | — |
| 特別損失合計 | 133 | 514 |
| 税金等調整前当期純利益 | 6,117 | 5,751 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,183 | 2,004 |
| 法人税等調整額 | △160 | △75 |
| 法人税等合計 | 2,023 | 1,929 |
| 当期純利益 | 4,093 | 3,822 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△) | △36 | 0 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 4,130 | 3,821 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 4,093 | 3,822 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 52 | 909 |
| 為替換算調整勘定 | 681 | 458 |
| 退職給付に係る調整額 | 15 | 2 |
| その他の包括利益合計 | 750 | 1,370 |
| 包括利益 | 4,843 | 5,192 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 4,664 | 5,008 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 178 | 183 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 6,621 | 8,706 | 21,109 | △0 | 36,437 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △761 | | △761 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 4,130 | | 4,130 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| その他 | | | 99 | | 99 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | － | － | 3,467 | △0 | 3,467 |
| 当期末残高 | 6,621 | 8,706 | 24,577 | △0 | 39,904 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|----------------------|------------------|----------|------------------|-------------------|---------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利 益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 766 | 73 | 8 | 849 | 3,603 | 40,889 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △761 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 4,130 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △0 |
| その他 | | | | | | 99 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | 52 | 466 | 15 | 534 | 277 | 812 |
| 当期変動額合計 | 52 | 466 | 15 | 534 | 277 | 4,279 |
| 当期末残高 | 819 | 539 | 24 | 1,384 | 3,880 | 45,169 |

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 6,621 | 8,706 | 24,577 | △0 | 39,904 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,333 | | △1,333 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 3,821 | | 3,821 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 2,488 | △0 | 2,488 |
| 当期末残高 | 6,621 | 8,706 | 27,065 | △0 | 42,393 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|----------------------|------------------|----------|------------------|-------------------|---------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利 益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 819 | 539 | 24 | 1,384 | 3,880 | 45,169 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △1,333 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 3,821 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | 909 | 274 | 2 | 1,187 | 277 | 1,464 |
| 当期変動額合計 | 909 | 274 | 2 | 1,187 | 277 | 3,952 |
| 当期末残高 | 1,729 | 814 | 27 | 2,571 | 4,157 | 49,122 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 6,117 | 5,751 |
| 有形固定資産減価償却費 | 3,292 | 3,420 |
| 無形固定資産減価償却費 | 94 | 97 |
| 減損損失 | — | 431 |
| のれん償却額 | 40 | 35 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 140 | 108 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 449 | 194 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 309 | △21 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 55 | 31 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 22 | 7 |
| 完成工事補償引当金の増減額 (△は減少) | 18 | △134 |
| 工事損失引当金の増減額 (△は減少) | △14 | △8 |
| 受取利息及び受取配当金 | △147 | △197 |
| 支払利息 | 647 | 787 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △9 | — |
| 固定資産除却損 | 129 | 82 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | △391 | △18 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △3,357 | 1,178 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △210 | 869 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 1,104 | △2,090 |
| ファクタリング未払金の増減額 (△は減少) | 836 | △2,254 |
| 契約負債の増減額 (△は減少) | △153 | △45 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 106 | 255 |
| 未収消費税等の増減額 (△は増加) | △35 | 17 |
| その他 | △421 | △691 |
| 小計 | 8,622 | 7,807 |
| 利息及び配当金の受取額 | 147 | 197 |
| 利息の支払額 | △648 | △790 |
| 法人税等の支払額 | △572 | △2,972 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 7,549 | 4,241 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,048 | △851 |
| 定期預金の払戻による収入 | 718 | 1,198 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,602 | △4,104 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 530 | 25 |
| 有形固定資産の除却に係る支出 | △115 | △37 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △91 | △101 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △312 | △83 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 32 | — |
| 貸付けによる支出 | △9 | △2 |
| 貸付金の回収による収入 | 3 | 8 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,895 | △3,948 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 1,304 | △1,146 |
| 長期借入れによる収入 | 4,000 | 300 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,388 | △1,798 |
| リース債務の返済による支出 | △123 | △123 |
| セール・アンド・リースバックによる収入 | — | 172 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △761 | △1,333 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △82 | △31 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 2,948 | △3,960 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △10 | 132 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 5,591 | △3,534 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 14,225 | 19,817 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 19,817 | 16,282 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、基礎工事関連事業を営んでおり、「国内事業」と「海外事業」の2つを報告セグメントとしております。「国内セグメント」は、当社及び事業子会社であるジャパンパイル(株)を始めとした国内連結子会社、「海外セグメント」は、ベトナムの事業子会社であるPhan Vu Investment Corporation及びその連結子会社、並びにミャンマーの事業子会社であるVJP Co., Ltd.にて構成されております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした金額であります。また、セグメント間の内部売上高又は振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表 計上額 (注) 2 |
|------------------------|---------|--------|---------|--------------|------------------------|
| | 国内事業 | 海外事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 89,736 | 20,508 | 110,245 | — | 110,245 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 144 | — | 144 | △144 | — |
| 計 | 89,880 | 20,508 | 110,389 | △144 | 110,245 |
| セグメント利益 | 5,595 | 795 | 6,391 | △107 | 6,283 |
| セグメント資産 | 79,012 | 26,120 | 105,133 | △5,904 | 99,229 |
| セグメント負債 | 38,606 | 18,088 | 56,695 | △2,634 | 54,060 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 2,395 | 967 | 3,363 | 23 | 3,386 |
| のれんの償却費 | 1 | 10 | 12 | 27 | 40 |
| 持分法投資損失(△) | — | △140 | △140 | — | △140 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 4,688 | 396 | 5,084 | △4 | 5,080 |

(注) 1. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表 計上額 (注) 2 |
|------------------------|---------|--------|---------|--------------|------------------------|
| | 国内事業 | 海外事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 86,872 | 16,279 | 103,151 | — | 103,151 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 103 | — | 103 | △103 | — |
| 計 | 86,975 | 16,279 | 103,255 | △103 | 103,151 |
| セグメント利益 | 6,142 | 913 | 7,056 | △40 | 7,016 |
| セグメント資産 | 75,803 | 25,784 | 101,587 | △6,357 | 95,230 |
| セグメント負債 | 31,903 | 15,683 | 47,587 | △1,478 | 46,108 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 2,555 | 939 | 3,494 | 23 | 3,518 |
| のれんの償却費 | 0 | 11 | 11 | 23 | 35 |
| 持分法投資損失 (△) | — | △108 | △108 | — | △108 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 3,110 | 193 | 3,303 | △1 | 3,302 |

(注) 1. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,084.01円 | 1,180.51円 |
| 1株当たり当期純利益 | 108.43円 | 100.34円 |

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|--------------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額 (百万円) | 45,169 | 49,122 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円) | 3,880 | 4,157 |
| (うち非支配株主持分 (百万円)) | (3,880) | (4,157) |
| 普通株式に係る期末の純資産額 (百万円) | 41,288 | 44,964 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数 (千株) | 38,088 | 38,088 |

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|----------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 4,130 | 3,821 |
| 普通株主に帰属しない金額 (百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利 益 (百万円) | 4,130 | 3,821 |
| 期中平均株式数 (千株) | 38,089 | 38,088 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。